

犬山市制60周年記念市勢要覧

いぬやま
ロククマル
マ
ル

いぬやまロククマル
犬山市制60周年記念市勢要覧



600

Inuyama City's 60th Anniversary-Outline Of Our City

発行
愛知県犬山市役所

企画財政部 秘書企画課
愛知県犬山市大字犬山字東畑 36 番地

平成 26 年 4 月発行
ホームページ
<http://www.city.inuyama.aichi.jp>



犬山市

～犬山の未来を照らす60の灯り～

わたしたちのまち犬山は、国宝犬山城をはじめとした歴史文化、
清流木曾川と東部丘陵に抱かれた豊かな自然環境など

「歴史」「文化」「自然」「ひと」に恵まれた“本物”のまちです。

先人達が築き、守ってきたこの宝物を未来の子どもたちへと継承するため、

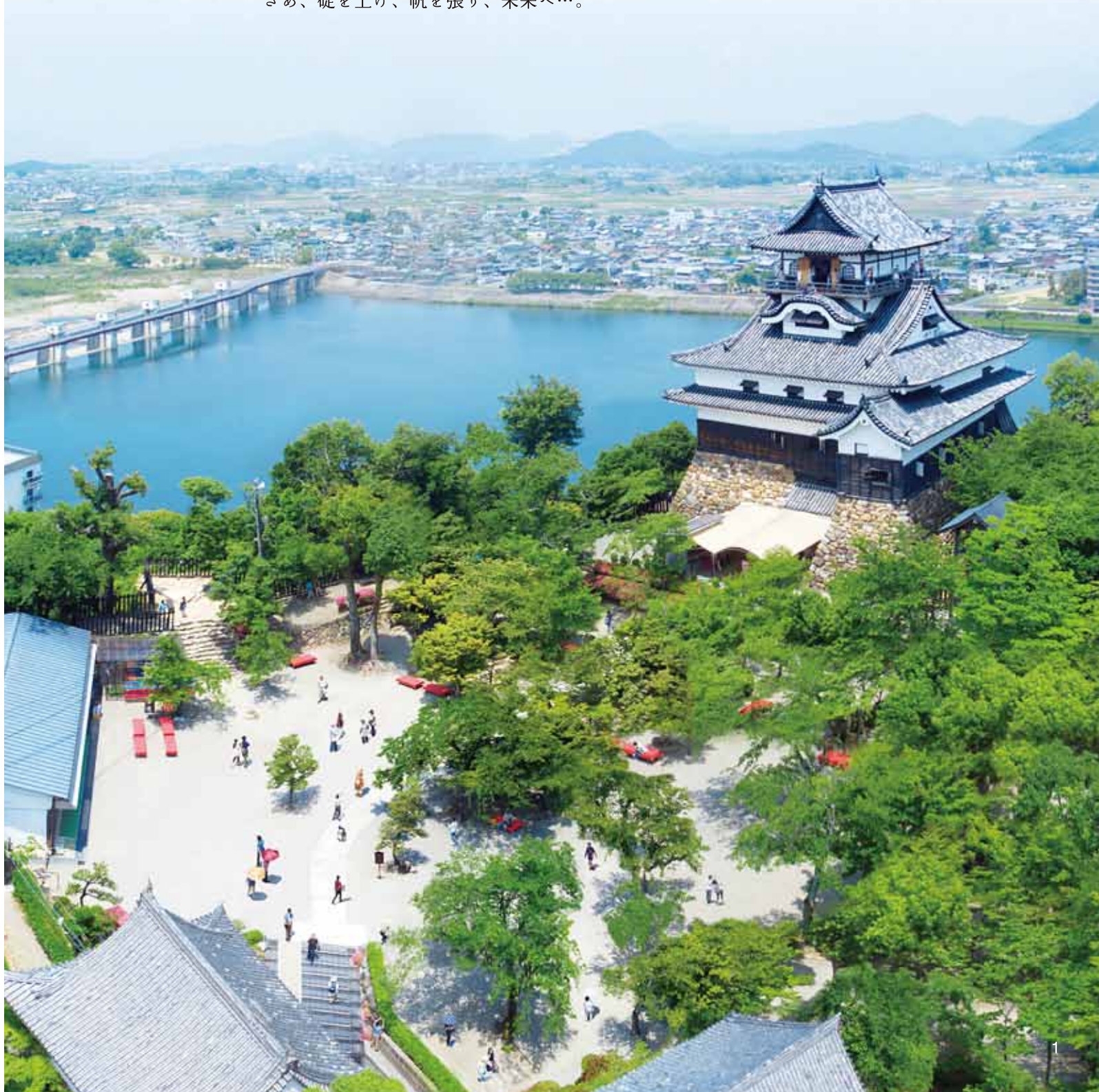
「人が輝き 地域と活きる“わ”のまち 犬山」の実現を目指したまちづくりに取り組んでいます。

市制60周年という節目を迎え、過去・現在・未来をつなぐ新たな船出の時である今。

改めてわがまち犬山の足元を見つめ、魅力をひもとき、

その行く手を照らす羅針盤のような60の灯りをここに集めました。

さあ、^{いかり}碇を上げ、帆を張り、未来へ…。



未来志向。
こどもたちに
笑顔とHappyを！

Index

いぬやまロクマル60 ～犬山の未来を照らす60の灯り～	01	
未来志向。子どもたちに笑顔とHappyを！	02	
Index ～もくじ～	03	
【はぐくみ】 教育充実	01～08	04
【すこやか】 健康市民	09～14	07
【あんしん】 安全安心	15～19	10
【いしずえ】 都市基盤	20～24	12
【いにしえ】 歴史文化	25～29	14
【おまつり】 祭歳時記	30～33	17
【おもてなし】 観光交流	34～38	19
【なりわい】 産業振興	39～45	22
【やさしさ】 環境共生	46～53	25
【まちづくり】 市民協働	54～59	29
最後の60は？	60	32
犬山市民60人ロクマル。未来へのメッセージ		34
犬山60歳。祝！還暦 ～60年のあゆみ～		36
市の紹介(市章、市の木・花、姉妹都市・友好都市等)		38
ごあいさつ～市長より		39



HAGUKUMI

Education

Main Performers who will build our future are the children. Inuyama city is the one who has challenged to create the new phase in education from Pre-K to Adult Education.

未来を担う主役は、こどもたち。
犬山では幼児教育から、
学校教育、生涯学習にいたるまで
独自のチャレンジと改革を重ね、
「教育の充実」に取り組んでいます。



子ども未来園 園庭芝生化

子どもたちが、けがをせず安全に遊べるよう、市内14か所の子ども未来園・幼稚園の園庭を芝生化。
園児らは、毎日元気に裸足で駆け回っています。

01



犬山独自の教育

子ども主体の学びの授業の創造を目指して「少人数学級」を実施。個に応じたきめ細やかな「少人数授業」や「チーム・ティーチング(複数の教師で1クラスを担当)」に取り組んでいます。

また、英語に親しみコミュニケーション能力を養うため、英語講師に外国人を採用したり、市独自の副教材を作成するなど、小中の連携も図っています。

02



子ども大学

学校が休みの土曜日を利用して、学校・家庭・地域社会が一体となって、子どもたちが自主的に学ぶ気持ちを育む「子ども大学」を開催しています。

犬山について学ぶ講座や、お茶・お花、囲碁、将棋、工作、自然教室など20以上の講座に毎年約400人の子どもたちが参加。NPO法人犬山市民活動支援センターの会「しみんてい」が企画運営を行っています。

03



楽田児童センター

平成25年4月、「楽田児童センター」がオープン。明るく広い集会室や創作活動室などを備え、子育て中のお母さん、お父さんのサポート拠点となっています。

また、放課後児童クラブとしても活用されています。

04



05

子育て支援の取り組み

市内7か所の児童館・児童センターで、毎週月曜日から金曜日、子育て広場「ぼんぼこ」を開催。
未就園の乳幼児親子が、体操やふれあい遊びなどを楽しみながら交流しています。



06

ICT 事業

平成13年に始まった「情報通信技術講習推進事業」を契機に、NPO法人いぬやまe-コミュニティネットワークと市が協働で「ICT講習会」を開催。
インターネット、メールなど日常のパソコン活用から文書作成や表計算など職場での活用まで幅広い分野を学べるため、多くの市民が受講しています。



07

市民総合大学 敬道館

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学ぶことができる生涯学習講座として毎年約1,000人が受講しています。
市民の知的教養を高めるための一般教養学部、専門的な知識を学ぶ6つの専門学部、著名人を講師に迎えた公開講座があります。



08

京都大学 霊長類研究所

昭和42年に設立された「京都大学霊長類研究所」は、ヒトと最も近い生物であるサルの仲間を研究することで、人間の生物としての本性を探る研究を展開し、数々の成果をあげてきました。
秋には市民公開日があるほか、市内小学生の見学も受け入れています。



しあわせは、心と体の健康から。生きがいを持ち、笑顔で暮らす「健康市民」であふれるまちを目指し、市民みずから健康づくりに取り組める環境を整えています。



SUKOYAKA
Healthy Citizens

Happiness dwells in sound mind and sound body
Inuyama City is wishing to have a lot of healthy citizens with a lot of smile and is developing the infrastructure for that.

健康市民づくり

三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）や健康づくり団体と連携しながら、「健康市民づくり」を積極的に推進。
高齢者をはじめ多くの市民が、ウォーキングやラジオ体操等、気軽に健康づくりに取り組めるための情報発信など「市民の健康寿命を延ばすまちづくり」に挑戦しています。

09



10

羽黒中央公園・新体育館

健康市民づくりの新たな拠点として「羽黒中央公園」を整備しています。人工芝や照明設備を備えた「多目的スポーツ広場」は、平成26年6月に供用開始を予定しています。併設する新体育館は平成28年中の供用開始を目指しています。



12

山ノ田公園 テニスコート

平成25年4月、「山ノ田公園テニスコート」のコートを4面から6面に増設するとともに夜間照明を整備。年間約28,000人の市民がテニスを楽しんでいます。



13

犬山国際 友好シティマラソン

毎年2月上旬、城下町周辺で「犬山国際友好シティマラソン」を開催。姉妹都市のアメリカ・デービス市や宮崎県日南市の選手も参加するなど、市内外から約6,400人の参加がありました。



11

高齢者の生きがい

就業や社会奉仕活動などを通じての「高齢者の生きがいづくり」を応援しています。シルバー人材センターによるシルバーショップ「ワン丸」、わんまるキッズ(乳幼児一時預かり)をはじめ、老人クラブ活動などの事業を展開中。



14

ウォーキングトレイル事業

新郷瀬川と五条川の分岐点から大口町との市境までの五条川左岸堤防に、「健康づくりのための遊歩道」を整備中。快適な歩行者空間づくりを目指しています。



安全安心に暮らせるまち、犬山。
災害や犯罪、交通事故などの
危険から市民を守るため、
市内の都市環境を整備し、
地域活動と連携しながら、
「安全安心網」を強化しています。

ANSHIN

Safety and Security

Safety and Security are the ones
Inuyama city pursues.
For the sake of keeping citizens stay
away from disaster, crimes, traffic
accidents, and any kinds of danger,
Inuyama city has nurtured the strong
tie with community groups and create
the network of Safety and Security.

街路灯のLED化

従来の電球より明るく節電効果のあるLED（発光ダイオード）に取り替えることで、経費削減や環境負荷の軽減を図り、安全安心なまちづくりを推進するため、街路灯や施設照明の「LED化」に取り組んでいます。

平成26年度には、市内全域の市が管理する電柱に付いている街路灯のLED化が完了となる見込みです。



消防署南出張所

平成23年4月、羽黒地区に「消防署南出張所」がオープン。消防車や救急車の到着時間が短縮されるなど、市南部の消防力が強化されました。



安全安心の地域活動

市内の274町内会が「自主防災組織」を設置しています。写真は、西楽田団地自治会の自主防災訓練の様子。約30年間にわたり毎年、消火器訓練や炊き出しなどを行なっています。



名証犬山総合運動場

内田地区の約4.2ヘクタールを取得し、平成26年度から約5年かけて、防災公園、多目的広場、常設駐車場、消防署北出張所などを一体的に整備予定です。



通学路の交通安全

市内の通学路に「グリーンベルト」や、注意喚起のための路面表示、カラー塗装の設置を行い、子どもたちの登下校の安全確保を図っています。

いしずえ
**都市
基盤**

市民にとって重要なのは、日々の暮らしが便利で快適であること。まちづくりの土台となる道路や交通等のインフラや公共施設の充実など、犬山の「都市基盤」を整えています。

ISHIZUE

Infrastructure

What citizens really want is comfortable life. Infrastructure means good roads, good traffic systems and beautiful public facilities. Inuyama city will always keep them upgraded.

20 新庁舎

「行政・情報・防災・交流の総合拠点」として平成21年11月に完成。エントランスから見渡せる窓口、夜間・休日も利用できる市民開放エリア、免震構造やバリアフリー、環境に配慮した太陽光発電など、さまざまな工夫を盛り込み、犬山の「新しいまちづくりの核」となっています。



2 1

楽田駅東広場

名鉄小牧線「楽田駅」の利用をより快適にスムーズに行えるよう、平成25年3月、駅周辺を整備。駅東広場、歩道整備のほか東改札口や屋外トイレも設置しました。



2 2

コミュニティバス

公共交通の行き届かない地域に「市民の足」を確保するため、平成12年から「コミュニティバス」を運行しています。

平成25年11月には、2台から5台に増車。ルートやバス停を改善するとともに近隣市町へも乗り入れるなど、利便性の向上を図っています。



2 3

道路整備

主要幹線である都市計画道路犬山富士線・富岡荒井線・楽田桃花台線の整備を進めています。

写真は、平成26年3月開通の犬山富士線（上野跨線橋）。



2 4

学校施設

羽黒小学校では、新体育館・給食棟を、地域に開かれた施設として建設しました。

また市内小中学校で、「体育館照明の高効率化」や「太陽光発電設備の設置」などに取り組み、児童・生徒の環境教育の一環としてだけでなく、災害に強い施設づくりを目指しています。

犬山には、城、城下町、古墳など「歴史や文化」の宝物がいっぱい。ふるさとの誇りであるこれらの資源を守り育て、後世に継承するまちづくりに取り組んでいます。

INISHIE

History and Culture

Inuyama city is full of historical and cultural treasure like Inuyama castle, castle town, ancient tomb mounds and etc. Inuyama city will protect and nurture those resources which are the pride of the town and hand them down to our descendants.



国宝犬山城

木曾川のほとりにそそり立ち、別名「白帝城」とも呼ばれる「犬山城」は、天文6年(1537年)に織田信長の叔父信康が築城しました。天守は、国宝四城のうち最古と言われています。平成25年の入場者は約44万人と年々上昇中。平成16年3月までは、成瀬家個人所有の城でしたが、平成16年4月より、財団法人犬山城白帝文庫(現:公益財団法人犬山城白帝文庫)の所有となりました。



国宝茶室 如庵

「如庵」は、現存する国宝茶室三名席の一つ。元々は、織田信長の弟で茶人の織田有楽斎(利休七哲の一人)が京都建仁寺に建てたものですが、昭和47年に、名鉄犬山ホテル敷地内へ移築されました。



城とまちミュージアム

平成24年10月、犬山市文化史料館が「城とまちミュージアム」の愛称で、リニューアルオープン。国宝犬山城と城下町のガイダンス施設として、武家文化、町人文化が花ひらいた江戸時代を中心に犬山の歴史や文化を展示紹介しています。



2 8

旧磯部家住宅・堀部家住宅 旧加茂郡銀行羽黒支店(小弓の庄)

江戸期から明治期に建てられた市内の伝統的建造物を保存するため、平成17年から23年にかけて建物の改修・復原工事を実施。いずれも、国の登録有形文化財に登録されています。

来館者に当時の暮らしや町家文化を伝えるとともに、旧磯部家住宅及び小弓の庄は、各地区のまちづくり拠点施設としての役割も担っています。



2 9

国史跡 東之宮古墳

「東之宮古墳」は白山平山の山頂にある全長約67メートルの前方後方墳。

3世紀後半に築造されたと考えられており、県下でも最古の部類に属する古墳です。

昭和48年の発掘調査で三角縁神獣鏡など約200点の副葬品が出土し、国の重要文化財に指定されました。

この三角縁神獣鏡の鏡面に太陽光を反射させると裏の文様が映し出される「魔鏡」現象がみられることを今年1月、京都国立博物館の村上隆学芸部長が発表し、話題となりました。



東之宮古墳出土 三角縁神獣鏡



四季を彩るさまざまなお祭りやイベント。ここ犬山は、一年中いつでもどこかでわくわく・ドキドキに出会えるまち。個性あふれる犬山の「祭歳時記」を体感してください。

OMATSURI

Beauty of Four Seasons

Inuyama city has many festivals and events all year round.

You can have the excitement anywhere, anytime.

You can experience the beauty of four seasons.



犬山祭

毎年4月第一土・日曜日に行われる「犬山祭」は、針綱神社の祭礼として寛永12年(1635年)に始まり、約380年続いている由緒あるお祭り。

平成18年には、国の重要無形民俗文化財に指定されました。県有形民俗文化財に指定された三層の車山(やま)13輛が、桜舞う城下町の中を巡行し、笛・太鼓に合わせ、からくりを披露。

夜には、各車山に365個の提灯を灯した「夜車山(よやま)」が巡行し、幽玄の世界が繰り広げられます。

3 0



桃太郎まつり

日本八景の一つ木曾川「日本ライン」のほとり栗栖地区にある桃太郎神社の祭礼「桃太郎まつり」。

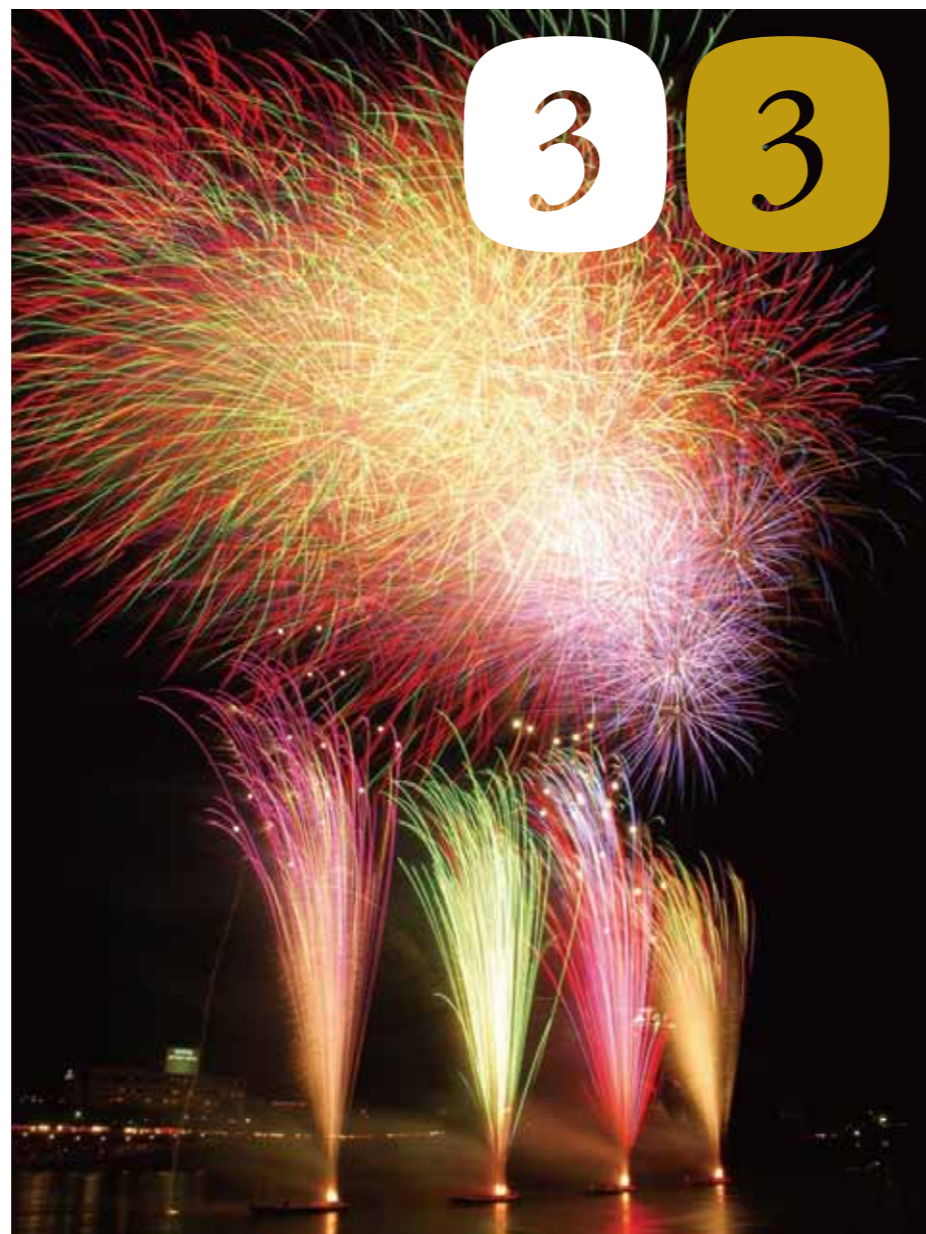
毎年5月5日に桃太郎の衣装を着けた子どもたちが、桃のおみこしと宝物を載せた荷車で神社周辺を練り歩きます。



石上げ祭

「石上げ祭」は、尾張三大奇祭の一つ。尾張富士(275メートル)と本宮山(293メートル)の背比べ伝説にちなみ、毎年8月第一日曜日に、有志が尾張富士の頂上へ石を上げます。

夜は、大縄に結んだ松明を振り回しながら参道を駆け下る「火振り」も行われます。



日本ライン夏まつり

「日本ライン夏まつり」は、木曾川河畔で、毎年8月10日に繰り広げられる花火大会。

ライトアップされた国宝犬山城を背景に、船上から約3000発の花火が打ち上げられます。

8/1～8/9は木曾川ロングラン花火を行い、木曾川河畔を彩ります。



木曾川うかい

1300年の伝統を誇る「木曾川うかい」に、平成25年、女性鶴匠・稲山琴美がデビューしました。

6月1日から10月15日までの開期中、4人の鶴匠が幽玄な「夜うかい」と華やかな「昼うかい」で盛り上げ、観光客も大幅増加中です。

犬山は、文化遺産からアミューズメントまで
観光資源の宝庫。
平成25年にデビューした女性鶴匠や
民間企業とのコラボレーションなど
犬山の「観光ブランド」推進を
積極的に行っています。

OMOTENASHI

Sight Seeing and Meeting people

Inuyama city is the treasure box of from the Cultural Heritage to Amusement parks.
The first female cormorant fisherwoman in Inuyama debuted in 2013.
A harmonious collaboration between the city and an entrepreneur have been producing outstanding "Inuyama Brand"





3 5

わん丸君

犬山市の公式キャラクター「わん丸君」は、10月10日生まれ永遠の10歳。

明るく、何にでも興味を持つ性格を活かし、イベント会場や観光施設で活躍中。愛らしい「ちょんまげ姿」は、子どもたちや観光客に親しまれています。

吉本興業コラボ

犬山観光の魅力を発信する「観光特使」として、吉本興業のお笑い芸人「ロンドンブーツ1号2号」の田村淳さんを任命しました。

また、犬山観光特使見習いのお笑いコンビ「サムタイムズ」が、観光PRに取り組んでいます。



3 7



3 6

犬山キャンペーン

春・夏・秋の観光シーズンに名古屋鉄道(株)と市がタイアップして「犬山キャンペーン」を展開中。城下町や清流木曾川など、季節ごとの犬山の魅力を発信しています。



3 8

博物館明治村

野外民族博物館

リトルワールド

日本モンキーパーク

日本モンキーセンター

「博物館明治村」は、昭和40年、入鹿池西に開村。国の重要文化財を含む明治期の建造物などを移築保存し、公開しています。



「野外民族博物館リトルワールド」は、昭和58年、今井の丘陵地にオープン。世界23カ国、32施設の民家や建物を移築復元し、展示公開しています。



「日本モンキーパーク」は、30種類以上のアトラクションを取り揃える施設として地域の方々から親しまれています。



「日本モンキーセンター」は世界最多種、約70種950頭を飼育展示している世界屈指のサル類動物園です。

なりわい
産業
振興

まちも元気!
農業から先端作業まで共存するのが犬山の産業。
企業誘致や新たな担い手の育成など、
まちに賑わいと活力をもたらす
「産業を応援」しています。

NARIWAI
Industry Promotion
Inuyama city has a full range of industries from agriculture to the most advanced technology development. Inuyama city has always been seeking the way to lure new companies and develop human resources to bring energy to our town.



朝市

地元で採れた新鮮な野菜や果物など「自分でつくったものの対面販売」を基本に、お客様とふれあい、交流できる「朝市」。
木曾川河畔をはじめ、市内各所で開催しています。

39



40

犬山農業

市民に安全安心な地元農産物を供給するため、農地の活用や生産者育成に力を入れています。また、桃や自然薯など、「農産物のブランド化」にも取り組み中。写真は、「犬山の桃栽培サポーター養成講座」のようす。



41

犬山特産品館

平成24年9月、犬山城下町、本町通りに、地元犬山や姉妹都市の特産品を一堂に集めた「犬山特産品館」をリニューアルオープン。
物販だけでなく、観光案内や貸ギャラリー・展示会など、さまざまな情報発信も行っています。



42

特産品

【犬山焼】
江戸元禄年間、今井村において今井窯が築かれたのが始まりとされている犬山焼。約200年前に犬山城主成瀬正壽公の庇護を受け発展しました。鳳凰や草花などを描いた「赤絵」や、桜と紅葉を描いた「雲錦手文様」が特徴です。
【地酒】
木曾川の伏流水を活かし、100年以上続く伝統的醸造。市内3か所の醸造元がそれぞれ自慢の酒を製造販売しています。
【げんこつ】
犬山名物げんこつは、170年の伝統を受け継ぐ素朴な味わいの和菓子です。



犬山駅西口 利活用

犬山の「玄関口」である駅西地区を魅力ある商業地にするため、民間からの提案を活かし観光駐車場とドラッグストアが、平成25年4月にオープン。

市と事業者は、災害時の応急生活物資提供などの「防災協力協定」を結んでいます。

4 3



プレミアム商品券

市内消費の拡大と中小事業者の育成、商店街の魅力づくりを目的として平成24年度より「わん丸君プレミアム商品券」を発行しています。

4 4



工業団地

産業振興や雇用促進、自主財源の確保などを旨として、環境と調和した新たな「工業団地の造成」と「優良企業の誘致」に取り組んでいます。

4 5



ふるさとの美しい自然を未来の子どもたちに残したい。犬山の自然環境や生き物を守るとともに、ごみ減量やリサイクルなど「地球にやさしい取組み」を進めています。

YASASHISA

Environmental Co-Habit

Inuyama city wants to preserve the beautiful nature to our children of the future and to protect the environment and living things as well as reducing wastes and promoting recycling for the easing on the earth movement.



桜プロジェクト

国宝犬山城や入鹿池など各地域の桜を遊歩道で結ぶ「桜のネットワーク化」に取り組んでいます。また、犬山ライオンズクラブの協力を得て、市民といっしょに桜拠点施設の善光寺山公園に桜の植樹をするなど「桜の名所づくり」も進めています。

4 6

47

犬山里山学センター

「犬山里山学センター」は、展示・体験を通して里山に触れ、人と自然の関係を見直す場として、平成18年にオープン。

展示ワーク・学習・収蔵スペースのほか、併設された環境保全ボランティアセンターを拠点に、約100人の環境ボランティアが「里山保全活動」に取り組んでいます。



49

稚アユの放流

木曾川周辺の小学校では、子どもたちに川の自然環境や命の大切さについて関心を持ってもらうため、毎年、愛北漁業組合の支援を受け、児童が稚アユを放流しています。



50

八曾自然休養林

「八曾自然休養林」は、森林浴やキャンプなど四季を通して、市民の憩いの場となっています。

平成20年6月、環境省から「平成の名水百選」に選ばれた「八曾滝」は、緑豊かな森の中、高さ18メートルの滝が水しぶきをあげています。



48

探鳥会

自然環境に恵まれている里山周辺の小学校では、アオサギなど学校周辺に生息するさまざまな野鳥を観察し、地域の自然の大切さを学ぶ「探鳥会」を定期的に開催しています。



入鹿池

「入鹿池」は、国内二番目の大きさを誇る人造湖。サクラ・ツツジの名所であり、晩秋から冬場にかけてはワカサギ釣りでにぎわいます。

平成22年3月、農林水産省から「ため池百選」に選ばれました。

また、池の耐震対策について、検証委員会を設置し、検討を進めています。



51



5 2

五条川 「五条川」は、岐阜県多治見市を源流に、八首山の南を流れ、入鹿池に水を満たした後、市の中央を貫いて流れています。両岸には、桜並木が続いており、左岸堤防を利用した遊歩道の整備を進めています(1 4 参照)。



5 3

ヒツバタゴ 別名「ナンジャモンジャ」の名で親しまれる「ヒツバタゴ」。国の天然記念物に指定されている池野西洞の自生地では、5月中旬頃に、雪が降り積もったように真っ白い花が美しく咲き誇ります。

犬山まちづくりのエンジンは「参加と協働」。小学校区単位などのコミュニティ活動をはじめ、国際交流や課題解決などテーマ型の市民活動を支援し、市民と行政の協働を重ねています。

MACHIZUKURI
Collaboration with citizens
Participation and Collaboration is the power plant of town building. Each elementary school district community group and the city have been working on the local issues as well as promoting the better international relationship.

まちづくり
市民協働

5 4

コミュニティ活動

城東・楽田・羽黒・東・犬山西・今井の6つの小学校区などで「コミュニティ推進協議会」が設立され活動中。市政への積極的参加、行政との協働を通して、地域が一体となったまちづくりを進めています。



5 5

国際交流

昭和58年に中国の湖北省襄樊市(現在の襄陽市)と、平成4年にドイツのザンクト・ゴアルスハウゼン市と友好都市提携しました。また、平成13年には、アメリカ合衆国のカリフォルニア州デービス市、平成26年2月には韓国の咸安郡と姉妹都市提携するなど、市民グループを主体とした交流も活発に進められています。さらに、ドイツ出身の6代目国際交流員ラウラ・ヨーネンさんを主体に、魅力的な地域づくりを進めています。



篠山市との姉妹都市提携

平成26年4月、犬山城主成瀬家と篠山城主青山家が親戚関係であることや、河合雅雄氏が両市の名誉市民であることを縁に、姉妹都市提携しました。

過去にも、音楽を通じた交流を行っていましたが、平成25年は、犬山お城まつりと篠山のデカンショ祭りに参加しあうなど、互いに交流を深めています。



羽黒城址竹林整備

小牧・長久手の戦いの後廃城となった「羽黒城」の石碑が建てられている場所は、城屋敷古墳と呼ばれる前方後円墳に当たるとされています。

この城址周辺を「竹林公園」として、官民協働で整備しています。



産官学連携

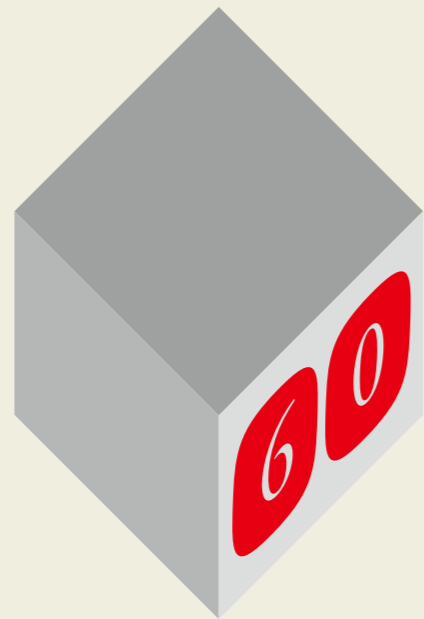
平成13年度の犬山市・名古屋経済大学・犬山商工会議所の三者による「連携交流協定」の締結をはじめ、これまでに市は5つの大学と「交流友好協定」を結んでいます。写真は犬山市産業振興祭会場における、学生による名経大「地域安心・安全マップ」体験コーナーのようす。



市職員の意識改革

職員一人ひとりが「市民には優しく、スピード感とコスト意識を持って」仕事に取り組むという意識改革に努めています。

市民との協働のもと、柔軟な発想で地域づくり・まちづくりを推進していきます。



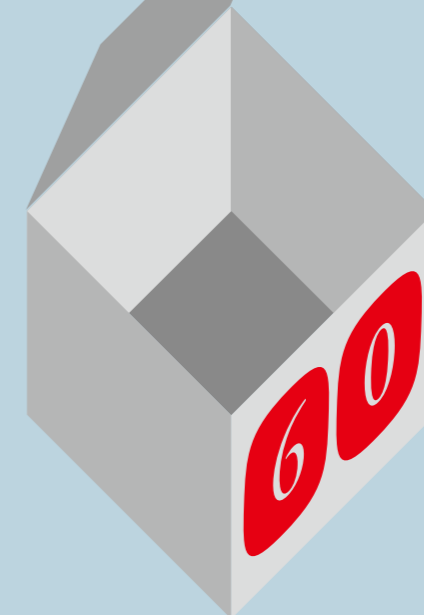
最後の60は？



01から59まで、
ご覧になられていかがでしたか？
最後の60は…

そう、この「ロクマル」を
お読みの「あなた」です。

市内にお住まいの人も市外の方も、
まさにみなさんが犬山の未来を照らす
かけがえのない存在。
わたしたちといっしょに、
2014年からの「未来航路クルージング」
ごいっしょしませんか？





犬山市民60人口クマル。未来へのメッセージ

犬山市民60人から、「未来の犬山へのメッセージ」をいただきました。



犬山シティマラソンは日本の三大城下町マラソンと呼ばれる日がきこくる (70代 男性)

古きよき城下町を受け継ぎ発展させることは犬山市民の未来につながる誇りになる (70代 男性)

歴史ある町をいつまでも… (60代 男性)

品格あるまちづくり (70代 男性)

むかしの町並みを大切にしたい (30代 男性)

魅力あるまち犬山を実現したい (60代 男性)

美しい花を咲かせるそんな土に私はなりたい (60代 男性)

連携と交流で思いもよらぬ花が咲く (70代 男性)

みんなが笑顔で暮らせるまち (40代 女性)

市民活動がもっと元氣になればまちがもっと輝く (40代 女性)

女性がもっと働きやすくなるように… (40代 女性)

笑いは世界を救う (50代 男性)

中心市街地も元氣私も元氣 (40代 女性)

犬山城や城下町がもっと有名になり観光客が増えると思う (10代 女性)

豊かな自然を保っていききたい (10代 男性)

文化を大切にしてい明るく住みよいまちに! (10代 女性)

伝統のある城下町を残していきたいです (10代 男性)

活気あるまちづくりをし観光客で賑わうまちとなれ! (40代 男性)

まったりくつろげるまち犬山 (50代 女性)

なんじゃもんじゃをもっとPRしたい (50代 女性)

明るい未来を!… (30代 女性)

人と人がつながり希望がもてるまち… (10代 男性)

めざせ!人口10万人 (30代 男性)

明るく楽しめるまちにしてね! (30代 女性)

やっぱり笑顔ですよネ~ (60代 女性)

観光客や住民がともに笑顔になれるまち (40代 男性)

いつか犬山に水族館ができてそこで働きたい (10代 男性)

将来 大工さんになって犬山らしい建物をいっぱい建てたい! (10代 男性)

皆がイキイキと暮らせる健康都市に! (50代 男性)

歴史と自然が調和する観光都市へ (50代 男性)

繋げよう歴史のバトン 広げよう犬山の笑顔 (10代 男性)

世界に誇れるまち犬山に! (10代 男性)

市内で就職できる安定した企業の誘致を (30代 男性)

道路が整備され交通の便のよいまちに (30代 男性)

住みよいまちがいいですね (40代 女性)

観光地として栄えて! (20代 女性)

夜遅くまで勉強できる施設があるといいです (20代 女性)

目指せ!観光都市!! (10代 女性)

大型スーパーマーケットの誘致を (20代 女性)

保育園の充実を (30代 女性)

でっかい遊園地がほしい (6才 男性)

遊具がいっぱいの公園がほしい (8才 男性)

安全に暮らせるまちに (30代 男性)

外国映画の上映をしてほしい (60代 女性)

市民病院をつくってほしい (60代 男性)

子どもが安心して住めるまちに (40代 女性)

今のまま自然を大切に残してほしい (20代 男性)

大学や専門学校の誘致を (50代 男性)

スポーツ施設の充実を (40代 女性)

映画館をつくってほしい (70代 女性)

内藤丈草にちなんだ俳句のまちに! (60代 女性)

市内の観光施設を市民に無料開放して (60代 女性)

すばらしい自然に恵まれた犬山の環境を守って (60代 女性)

子どもの笑顔が輝くまち (70代 女性)

未来へ羽ばたく子どもたちのために優秀な指導者の育成を (40代 女性)

就活 婚活に希望がもてるまち (20代 女性)

自慢できるふるさとに (20代 女性)

子育てと仕事が両立できるまち (30代 女性)

子育て支援をすすめてほしい (30代 女性)

小・中学校のより良い教育を (30代 女性)

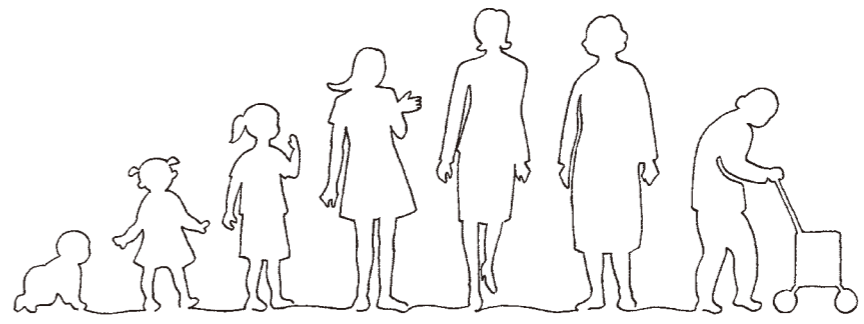
Smile

Message

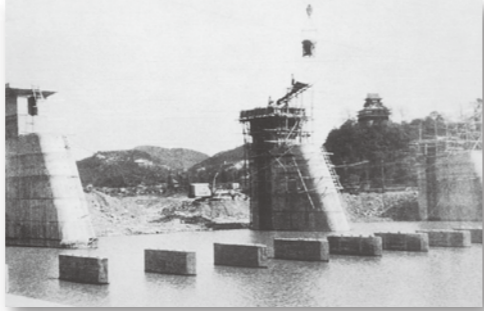
犬山60歳。祝！還暦

～60年のあゆみ～

犬山は市制施行60周年を迎え、人間で言えばちょうど「還暦」。干支が一巡し、起算年の干支に戻る節目に当たります。この新たな旅立ちの時、あらためて犬山市の原点（ルーツ）を見直し、そのあゆみをふりかえってみましょう。



木曾川西谷港
(昭和26年)



ライン大橋の建設(昭和34年)



犬山駅(昭和31年)



下本町商店街(昭和32年)



明治村(昭和41年)



犬山ラインパーク(昭和36年)



犬山市を訪れた皇太子夫妻(昭和43年)



東之宮古墳発掘(昭和48年)



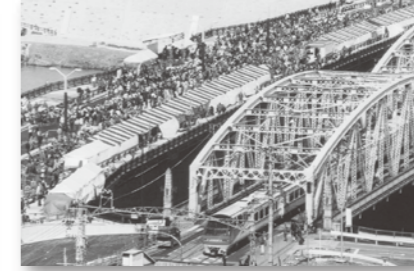
第1回日本ライン
夏まつり
(昭和55年)



第1回犬山お城まつり
(平成8年)



温泉湧出(平成8年)



ツインブリッジ開通(平成12年)

1954-1959 【昭和29年～昭和34年】

- 昭和29年
 - 4月 市制施行
 - 真野幸太郎氏初代市長に就任
 - 6月 犬山観光協会発会
 - 7月 「広報犬山市」創刊
 - 上本保育園開園
- 昭和30年
 - 3月 第1回市議会議員選挙
 - 5月 市役所新庁舎完成
 - 10月 国勢調査人口35,910人
- 昭和32年
 - 3月 羽黒簡易水道、栗田簡易水道給水開始
 - 7月 天皇陛下(皇太子当時)行啓
 - 11月 市営火葬場(白蓮荘)完成
- 昭和33年
 - 3月 栗田西北野、塔野地市営住宅完成
 - 4月 岡部益衛氏市長に就任
- 昭和34年
 - 3月 羽黒保育園完成
 - 6月 犬山ユースホステル完成
 - 9月 伊勢湾台風襲来
 - 11月 じんかい焼却場完成

1965-1969 【昭和40年～昭和44年】

- 昭和40年
 - 3月 「明治村」開村
 - 8月 犬山自動電話開通
 - 10月 国勢調査人口43,007人
- 昭和41年
 - 5月 名古屋大学地震観測所開所
 - 8月 明るい青少年都市宣言
- 昭和42年
 - 6月 京都大学霊長類研究所開所
 - 11月 犬山城茶室完成
- 昭和43年
 - 3月 天皇・皇后両陛下(皇太子・皇太子妃当時)行啓
 - 市内各地に公社・民間による住宅団地建設が急増
 - 8月 常陸宮ご夫妻ご来犬
- 昭和44年
 - 4月 皇太子(浩宮様当時)行啓

1960-1964 【昭和35年～昭和39年】

- 昭和35年
 - 4月 日本ライン記念碑除幕
 - 7月 母子健康センター開所
 - 10月 南部中学校開校
 - 国勢調査人口38,202人
- 昭和36年
 - 8月 第1回市民総合体育大会開催
 - 犬山城解体修理起工式
 - 9月 愛知用水通水
 - 11月 白山浄水場完成
- 昭和37年
 - 7月 ライン大橋完成
- 昭和38年
 - 3月 犬山市体育館完成
- 昭和39年
 - 5月 消防庁舎(現北庁舎)、と畜場完成

1970-1974 【昭和45年～昭和49年】

- 昭和45年
 - 10月 国勢調査人口50,594人
 - 福祉会館完成
- 昭和46年
 - 4月 羽保育園開園
 - 10月 小島清三氏市長に就任
 - 不燃物収集用ダストバケット、クレーン車を採用
- 昭和47年
 - 2月 犬山自然保護条例制定
 - 3月 簡易水道統合
 - 4月 五郎丸保育園移転新築完成
- 昭和48年
 - 4月 栗田西保育園開園
 - 0歳児医療無料化
 - 6月 「犬山市基本構想」策定
 - 8月 東之宮古墳発掘
 - 10月 立山町と姉妹都市提携
 - 県管水道受水開始

1975-1979 【昭和50年～昭和54年】

- 昭和49年
 - 2月 丸山保育園完成
 - 3月 城東第2保育園完成
 - 4月 市の木(かなめもち)、市の花(さくら)を制定
 - 5月 勤労青少年ホーム開館
 - 10月 消防本部・署新庁舎完成
 - 今井開拓パイロット初出荷
- 昭和50年
 - 4月 栗田東・羽黒南保育園開園
 - 7月 犬山・八曾自然休養林開園
 - 10月 国勢調査人口58,731人
 - 市役所庁舎増築完成
- 昭和51年
 - 5月 養護老人ホーム改築完成
 - 12月 心身障害児通園施設「ポニーの部屋」オープン
- 昭和53年
 - 4月 犬山南高校開校
- 昭和54年
 - 3月 南部老人福祉センター完成
 - 4月 東小学校開校
 - 松山邦夫氏市長に就任

1980-1984 【昭和55年～昭和59年】

- 昭和55年
 - 4月 橋爪保育園開園
 - 7月 いぬやまテレホンサービス開局
 - 8月 第1回日本ライン夏まつり開催
 - 10月 国勢調査人口64,614人
- 昭和56年
 - 4月 休日急病診療所完成
- 昭和57年
 - 4月 犬山西小学校開校
 - 8月 市民文化会館開館
 - 10月 犬山駅東土地区画整理事業開始
- 昭和58年
 - 2月 城東小学校区コミュニティ推進協議会設立
 - 3月 都市美化センター完成
 - 武道館完成

1985-1989 【昭和60年～平成元年】

- 昭和60年
 - 2月 犬山駅東西連絡橋開通
 - 3月 金糸猴を日本初公開
 - 9月 平和都市宣言
 - 10月 国勢調査人口68,723人
- 昭和61年
 - 2月 犬山・立山雪まつり開催
 - 7月 第1回犬山あゆまつり
- 昭和62年
 - 2月 市文化史料館開館
 - 3月 高齢者活動センター完成
 - 6月 国際観光モデル地区に指定
 - 7月 キャスティバル犬山'87開幕
- 昭和63年
 - 3月 一般廃棄物最終処分場完成
 - 11月 国際交流のまち推進プロジェクト実施市に指定
- 平成元年
 - 2月 尾張北部聖苑完成
 - 10月 公共下水道供用開始

1990-1994 【平成2年～平成6年】

- 平成2年
 - 10月 市立図書館開館
 - 国勢調査人口69,803人
- 平成3年
 - 4月 第3次総合計画スタート
 - 7月 アメニティ協会発足
 - 9月 ゆとり創造都市宣言
- 平成4年
 - 4月 犬山商工会議所創立
 - 6月 ザンクト・ゴアルスハウゼン市と友好

2005-2009 【平成17年～平成21年】

- 平成5年
 - 4月 都市景観条例制定
 - 市ごみ減量実施計画策定
 - 7月 図書館に「サル文庫」オープン
- 平成6年
 - 4月 名誉市民に成瀬正俊氏
 - 10月 わかしやち団体開催
- 平成7年
 - 4月 犬山国際観光センター完成
 - 石田芳弘氏市長に就任
 - 10月 国勢調査人口71,342人
- 平成8年
 - 3月 市内に温泉湧出
 - 4月 第1回犬山お城まつり
 - 国際会議観光都市に指定
- 平成9年
 - 4月 ごみの4分別とごみ袋の透明・半透明化を実施
 - 6月 栗田地域コミュニティ推進協議会設立
- 平成10年
 - 7月 環境4条例施行
 - 11月 ねりんピック'98愛知・名古屋「3世代交流マラソン大会」
- 平成11年
 - 1月 各務原市と交流事業に関する覚書を調印
 - 4月 第4次総合計画スタート
 - 情報公開条例・個人情報保護条例施行
 - 10月 羽黒地区等コミュニティ推進協議会設立
 - 11月 全国雑木林会議'99あいち
- 平成12年
 - 1月 旧加茂郡銀行羽黒支店復原施設(小町の庄)オープン
 - 3月 ツインブリッジ開通
 - 7月 市内4コースでコミュニティバスがスタート
 - 8月 宮崎県日南市と姉妹都市提携
 - 9月 名誉市民に谷口清太郎氏
 - 10月 中本町まちづくり拠点施設(どんでん館)

2005-2009 【平成17年～平成21年】

- 平成13年
 - 1月 新成人主催による「新成人の集い」はじまる
 - 2月 アメリカデビス市と姉妹都市提携
 - 3月 犬山城の新管理契約調印
 - 市民活動支援条例を施行
 - 4月 粗大ごみの有料戸別収集スタート
 - 栗田ふれあいセンターオープン
 - 名古屋経済大学と交流に関する覚書を調印
 - 6月 市民健康館(さくら)オープン
 - 7月 日本ラインフィルムコミッション連絡協議会設立
 - 12月 田中志典氏市長に就任
- 平成14年
 - 2月 戸籍事務を電算化
 - 3月 全市博物館構想を発表
 - 犬山商工会議所、名古屋経済大学と産学官連携交流協定を締結
 - 4月 環境基本条例を施行
 - 犬のバトラが市の職員(職犬)に
 - 6月 環境で輝く犬山宣言
 - 8月 住民基本台帳ネットワークシステムがスタート
 - 10月 ケーブルテレビが開局
- 平成15年
 - 4月 家庭動物愛護のまち犬山宣言
 - 木曾川親水株式会社設立
 - 5月 さくら工房オープン
 - 霊長類研究所と交流に関する覚書調印
 - 東京大学愛知演習林と地域交流に関する協定を締結
 - 9月 日本ライン広域地域が観光空間づくりモデル事業に選定
- 平成16年
 - 2月 日本ライン広域観光推進協議会設立
 - 5月 犬のレイが市の職員(職犬)に
 - 6月 第1回犬山踊盆祭
 - 犬山城下町再生計画が国の地域再生計画に認定
 - 7月 名古屋工業大学と相互友好協力協定書を調印
 - 10月 名誉市民に河合雅雄氏

2010-2014 【平成22年～平成26年】

- 平成17年
 - 2月 全国古城絵巻五十撰完結
 - 5月 愛知万博犬山市の日開催
 - 8月 木曾川景観協議会設立
 - 10月 第1回城下町秋まつり開催
 - 国勢調査人口74,294人
 - 11月 第1回犬山マウンテンバイクフェスティバル今井ステージ開催
- 平成18年
 - 3月 登録有形文化財旧磯部家住宅オープン
 - 5月 中部大学と相互友好協力協定書調印
 - 6月 里山学センター開設
 - 7月 愛知北エフエム放送開局
 - 12月 田中志典氏市長に就任
- 平成19年
 - 5月 美しい日本の歴史的風土100選に「木曾川と城下町」が選定
 - 8月 全市博物館シンポジウム開催
 - 12月 犬山商工会議所、名古屋経済大学と産学官連携交流協定を締結
- 平成20年
 - 4月 名誉市民成瀬正俊氏逝去
 - 6月 名誉市民成瀬正俊氏市葬
 - 平成の名水100選に「八曾滝」が認定
 - 市民健康館さくらが公共建築賞の優秀賞を受賞
 - 7月 新庁舎起工式
 - 10月 余坂木戸口まちづくり拠点施設(余遊亭)別館オープン
- 平成21年
 - 7月 剪定樹木チップ化開始
 - 11月 新庁舎完成
 - 12月 家庭系可燃ごみの指定袋制度を導入
- 平成22年
 - 1月 平成55周年記念式典・記念事業「まき巻フェスタ」開催
 - 3月 城下町の電線類地中化
 - 4月 ロンドンブーツ1号2号田村淳氏犬山観光特使に任命
 - 6月 石作公園の芝生広場整備

2010-2014 【平成22年～平成26年】

- 10月 国勢調査人口75,198人
- 湿地サミット開催
- 栗栖木曾河川敷芝生公園完成
- 平成23年
 - 12月 東小学校区コミュニティ推進協議会設立
 - 1月 国土交通省の「手づくり郷土賞」大賞受賞(犬山北のまちづくり推進協議会と犬山市)
 - 3月 城下町地区の道路美化
 - 消防署南出張所完成
 - 4月 第5次総合計画スタート
 - 城下町で歩行者天国スタート
 - 5月 犬山西地区コミュニティ推進協議会設立
 - 8月 ログラン花火復活
 - 犬山観光特使見習い「サマタイムズ」任命
- 平成24年
 - 2月 兵庫県豊岡市と災害応援協定締結
 - 5月 女性納匠見習い任命
 - 木曾三川流域自治体サミット開催
 - 旧堀部家住宅グラウンドオープン
 - ドイツ ザンクト・ゴアルスハウゼン市友好都市締結20周年記念植樹
 - 東之宮古墳を発掘調査
 - 9月 犬山特産品館リニューアルオープン
 - 10月 文化資料館リニューアルオープン
- 平成25年
 - 3月 栗田駅東広場整備
 - 栗田児童センター移転オープン
 - 子ども未来園の園庭を芝生化
 - 女性納匠デビュー
 - 9月 今井小学校区コミュニティ推進協議会設立
- 平成26年
 - 2月 大韓民国慶尚南道咸安郡と姉妹都市提携
 - 3月 犬山富士線上野跨線橋完成開通
 - 4月 篠山市と姉妹都市提携
 - 羽黒中央公園多目的スポーツ広場お披露目

市章

「丸に一」の印は、江戸時代を通して犬山城主だった成瀬氏の旗印。犬山町制時代にも町章として使われてきました。昭和29年の市制移行後も、市章として使われています。



姉妹都市



たてやま 立山町(富山県)

立山連峰や立山黒部アルペンルートで知られる立山町。犬山市とは、旧国鉄と名鉄の相互乗り入れによる「北アルプス号」が犬山・立山間を結んだことを記念し、昭和48年に姉妹都市として提携しました。

ききやまし 篠山市(兵庫県)

丹波篠山こと兵庫県篠山市は、京都への交通の要として発展し、江戸時代には城下町を中心として栄えてきた歴史があります。また、自然環境も豊かで、黒豆、丹波栗、猪肉、大納言小豆など、特産物も多いのが特徴です。



市の木・花

市政20周年を記念して、市民の投票をつのった結果、「かなめもち」と「さくら」が市の木・市の花に選ばれ、昭和49年4月1日に制定されました。

かなめもち



里山にも多く育ち、春の新葉の赤い色が特徴の広葉樹です。

さくら



日本の国花でもある桜。城下町や五条川で春を美しく彩ります。

市のキャラクター

わん丸君。「いぬ」のつく市は全国でも犬山市だけであることから、平成13年、市のキャラクターとしてデビュー。お城にちなんだちょんまげ姿が人気で、各種イベントで活躍しています。



にちなんし 日南市(宮崎県)

宮崎県南部で日向灘を望む日南市には、全国有数のリアス式海岸があります。飫肥(おび)城主伊東氏の娘が、初代犬山城主成瀬正成の弟正武の夫人だったことから、市民の交流が始まり、平成12年に姉妹都市として提携しました。



デービス市(アメリカ・カリフォルニア州)

サンフランシスコ北東の都市デービス市は、大学都市であるとともに、ソーラー発電などが発達した環境先進都市でもあります。犬山市とはマラソン選手派遣などの交流があり、平成13年に姉妹都市として提携しました。



はせんぐん 咸安郡(大韓民国)

大韓民国慶尚南道の中心に位置する咸安郡には、韓国古代の伽耶時代(3~6世紀)の約37基もの古墳群が広がり、伽耶文化の象徴となっています。平成26年に姉妹都市として提携しました。今後、市民参加での交流が期待されています。

友好都市

じょうりょうし 襄陽市(中国・湖北省)

漢水の中流域の古都、襄陽は、三国志の古戦場としても有名で、政府から歴史的文化都市の指定も受けています。近代工業都市としても発展が続き、犬山市とは珍猿「金絲猴(きんしこう)」が縁で、昭和58年に友好都市となりました。



ザンクト・ゴアルスハウゼン市(ドイツ)

ドイツ・ライン川沿岸でローレライ伝説でも世界的に有名な観光都市。犬山市とは日独「ライン」下りの民間企業が友好提携したのをきっかけとして、市レベルの交流に発展し、平成4年に友好都市となりました。



平成26年4月1日に、犬山市が誕生して60年を迎えました。建設中の多目的スポーツ広場も完成し、併設する新体育館は、平成28年中のオープンを目指しています。人生にたどるなら還暦、そして、運動施設の整備を見越して、平成26年度を『健康市民づくり』元年と位置づけ、健康寿命をのばすまちづくりを推進していきます。近年、犬山城の登閣者数は増え続け、城下町は敬慕する人で賑わうようになりました。古墳文化も加え、犬山に潜在的にある力や可能性をもっと引き出したり、磨いていけば、さらに輝くすばらしいまちに成長できます。日々改善の積み重ねにより、「誇れるまち、犬山」を実現できるよう全力を尽くしていきます。

犬山市長 田中 志典



いぬやま
ロクマル

60



犬山市制
60周年
健康市民づくり元年